

東北太平洋漁港ブロック協議会

盛岡市で開催



東北太平洋漁港ブロック協議会の様子

平成24年度東北太平洋漁港ブロック協議会が、7月11日、「ホテル岩手」において、青森、岩手、宮城、福島、福島の4県の漁港関係者約70名が出席して開催された。

冒頭、挨拶にたった鈴木俊一（岩手県漁業振興課）が、約70名が出席して開催された。鈴木俊一（岩手県漁業振興課）が、約70名が出席して開催された。

鈴木俊一（岩手県漁業振興課）が、約70名が出席して開催された。

月が経過した。こ
こに集まると大々
被災した。この大
震災により、漁港
法制定以来65年間
整備してきた生産
設備が一瞬にして
崩壊した。生産基
盤は生産から流
通、造船まで一
たれて成り立つて
おり、今後は、貴
州にあり漁港を
復旧にあたり漁港を
約化するとしているが
岩手県は地元の磯根資源
を相手にしているため
津々浦々に漁港が必要で
あり、集約して復旧す
る。今後の復旧、復興
のために本協議会が復興
のためには協議会が復興
のためには協議会が復興

月が経過した。こ
こに集まると大々
被災した。この大
震災により、漁港
法制定以来65年間
整備してきた生産
設備が一瞬にして
崩壊した。生産基
盤は生産から流
通、造船まで一
たれて成り立つて
おり、今後は、貴
州にあり漁港を
復旧にあたり漁港を
約化するとしているが
岩手県は地元の磯根資源
を相手にしているため
津々浦々に漁港が必要で
あり、集約して復旧す
る。今後の復旧、復興
のために本協議会が復興
のためには協議会が復興

月が経過した。こ
こに集まると大々
被災した。この大
震災により、漁港
法制定以来65年間
整備してきた生産
設備が一瞬にして
崩壊した。生産基
盤は生産から流
通、造船まで一
たれて成り立つて
おり、今後は、貴
州にあり漁港を
復旧にあたり漁港を
約化するとしているが
岩手県は地元の磯根資源
を相手にしているため
津々浦々に漁港が必要で
あり、集約して復旧す
る。今後の復旧、復興
のために本協議会が復興
のためには協議会が復興

月が経過した。こ
こに集まると大々
被災した。この大
震災により、漁港
法制定以来65年間
整備してきた生産
設備が一瞬にして
崩壊した。生産基
盤は生産から流
通、造船まで一
たれて成り立つて
おり、今後は、貴
州にあり漁港を
復旧にあたり漁港を
約化するとしているが
岩手県は地元の磯根資源
を相手にしているため
津々浦々に漁港が必要で
あり、集約して復旧す
る。今後の復旧、復興
のために本協議会が復興
のためには協議会が復興

関東・東海地区漁港漁場協議会

三重県鳥羽市答志島で開催



関東・東海地区漁港漁場協議会の様子

平成24年度関東・東海地区漁港漁場協議会が、7月10日（火）午後5時30分より三重県鳥羽市答志島の「鳥羽市ミヨコティアリーナ」において、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重の

平成24年度関東・東海地区漁港漁場協議会が、7月10日（火）午後5時30分より三重県鳥羽市答志島の「鳥羽市ミヨコティアリーナ」において、茨城、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重の

と高付加価値化を支える
漁港の生産・流通機能の
高度化と老朽化対策の推
進
一、水産資源の生産力の
向上と豊かな生態系を維
持するための水産環境整
備の推進

と高付加価値化を支える
漁港の生産・流通機能の
高度化と老朽化対策の推
進
一、水産資源の生産力の
向上と豊かな生態系を維
持するための水産環境整
備の推進

1都6県の役員
担当者及び地元鳥
羽磯部漁業協同組
合役員など約50名
が出席して開催さ
れた。

冒頭、森本繁史
三重県水産基盤整
備協会会長による
三重県の水産業
漁港の現状、水産
基盤整備の状況等
の説明を兼ね開
会挨拶のあと、来賓の橋
本牧水産庁漁港整備
部長が、「このよう意見
交換の場は大変大事であ
り、我々も出来るだけ参
画したい」と話している。
現在東日本大震災からの
復旧、復興に全力を傾注
しているが、南海トラフ
による地震津波の発生が
懸念されており、これに
対する防災、減災対策が
急務となっている。今年
度から新たな漁港環境整
備長期計画のもと整備が
進められることとなっ
た。災害に強く安全な地
域づくりとともに流通の
高度化、水産資源の増大
を目指した水産環境整備
等を推進していくが、皆
さんの支援、協力をお願
いする」と話した。

続いて、田中潤児全
国漁港漁場協会会長、永
富洋三三重県漁業協同組
合連合会代表理事会長及
び木下憲一鳥羽副市長が
挨拶を行った。



鳥羽磯部漁業協同組合

表理事会長（）
「第4号議案」安全・
安心な水産物の安定供給
を支える高度衛生管理化
された漁港整備の促進と
平成25年度事業の円滑な
推進、提案理由説明者
五土安哉山形県海産物
場協会副会長（山形県漁
協代表理事）
続いて、北日本地区の
各協議会の総意を示すた
に決議文が諮られ、小川
栄三川内漁港漁場協会副
会長、石川川内漁協代表
理事（会長）が朗読した
文が採択された。
また、次年度の協議会
開催地が秋田県と決定さ
れ、波部野男秋田県漁港
漁場協会会長から歓迎の
審議され、提案事項とす
つき配分を決定すること
から、水産基盤整備関係
予算を確保できないとい
う報告が多く、特海洋
事業において地震津波対
策をどううて支障とな
っているという意見があ
った。

前年の予算実績等に基づき配分を決定することから、水産基盤整備関係予算を確保できないという報告が多く、特海洋事業において地震津波対策をどううて支障となっているという意見があった。

審議され、提案事項とす
つき配分を決定すること
から、水産基盤整備関係
予算を確保できないとい
う報告が多く、特海洋
事業において地震津波対
策をどううて支障とな
っているという意見があ
った。

前年の予算実績等に基づき配分を決定することから、水産基盤整備関係予算を確保できないという報告が多く、特海洋事業において地震津波対策をどううて支障となっているという意見があった。

北日本地区漁港漁場協議会

金沢市で開催



北日本地区漁港漁場協議会の様子

平成24年度北日本地区漁港漁場協議会が、7月12日午後3時から金沢市山石川の5県の漁港漁場関係者約70名が出席して開催された。

冒頭、持本一茂（石川県漁業協同組合）が挨拶に立ち、「昨年の猛威は記憶に深く刻まれました。津波の想像を超えた約30人が参加して開催された。

冒頭、持本一茂（石川県漁業協同組合）が挨拶に立ち、「昨年の猛威は記憶に深く刻まれました。津波の想像を超えた約30人が参加して開催された。

水産庁人事

八月一日付

漁港漁場整備部計画課
村課長補佐 環境整備課
担当 計課長補佐 計
画課長補佐 伊藤敬朗
画課長補佐 伊藤敬朗
担当 計課長補佐 計
画課長補佐 伊藤敬朗
画課長補佐 伊藤敬朗

漁港漁場整備部計画課
村課長補佐 環境整備課
担当 計課長補佐 計
画課長補佐 伊藤敬朗
画課長補佐 伊藤敬朗
担当 計課長補佐 計
画課長補佐 伊藤敬朗
画課長補佐 伊藤敬朗

近畿ブロック漁港漁場協会協議会

神戸市で開催



6府県の関係者が集った

開催費を代表して兵庫県漁港協会の中田勝久会長(南あわじ市長)より開会挨拶があり、続かず野神養整水産庁漁港整備備部計画課長田中潤児(全国漁港漁場協会正・理事)及び三浦恒夫(兵庫農林水産局長)の挨拶の後、局長の挨拶の後に神戸市のホテル北野プラザ六甲荘で開会され、福井滋賀、京都、大阪、和歌山及び兵庫の6府県等から31名が出席した。

財政支援が必要であるとの説明があった。また、滋賀県からは「しがの農業・水産革新戦略プラン」の達成に向けて、漁場と産卵整殖場の整備、保全による自然再生能力の向上、効果的な種苗放流や天然再生産の助長による水産資源の増産、水産有害生物の駆除の強化、担い手の確保と漁協組織の強化に取組むなど水産業の持続的発展を目指している」という趣旨に沿って国による恒久的な財政措置を講ずる必要があるとの説明があった。これらに賛同し、東日本大震災における未曾有の津波被害の教訓を活かして近い将来に発生する可能性が高いと指摘されている東海・東南海・南海の3連動型地震への緊急対策が必要であるが、

国の交付金の予算枠が足りないことが十分な対策費用が確保できない状況にあり、滋賀県は「漁港と産卵整殖場の促進に必要とされる平成25年度予算の確保が必要である」と説明があった。また、京都府からは「近年海岸漂着物増加しており、優れた自然景観や生活環境を損なう状況になってきているが、その処理費用は海岸管理者の負担の限界を超えるようになっている」という趣旨に沿って国による恒久的な財政措置を講ずる必要があるとの説明があった。これらに賛同し、東日本大震災における未曾有の津波被害の教訓を活かして近い将来に発生する可能性が高いと指摘されている東海・東南海・南海の3連動型地震への緊急対策が必要であるが、

また、24年度のブロック協議会の開催は福井県と決定された。協議会終了後、宇智神計画課長は、漁港整備備部計画課長、田中潤児(全国漁港漁場協会正・理事)より、兵庫県の津波防災ステーションの整備について、兵庫県の水産課の地主兼主任の

「兵庫県の漁場整備について、津波及び防災を、知って、及び同漁港課の大西勝則計画係長は、兵庫県の漁港整備備部計画課長と題する講演があった。翌13日には、淡路島に渡り、南あわじ市の福良港の津波防災ステーションの整備について、兵庫県の水産課の地主兼主任の

中・四国漁港漁場団体協議会

松江市で開催



9県の関係者が集った



出雲市の大社漁港海岸を視察

第37回中・四国漁港漁場団体協議会が、7月26日午後3時30分から松江市の「松江東急」において、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知の9県から約30名の関係者が出席して開催された。冒頭挨拶に立った宇津徹男(鳥取県漁港漁場協会会長・浜田市長)は、「東日本大震災の被災地の一刻も早い復興を願う」としての復興を願うこととして、「二度とこのような災害が起きないように十分な備えが必要であり、今後の漁港、漁村の整備においても防災対策を重視した取組みを進めていくことが重要である。国及び地方の財政状況は大変厳しい状況が続く。水産業、漁村を

取り巻く環境も一段と厳しくなっているなかで新しい漁港整備備長期計画が策定された。安心・安全な水産物の供給と漁村の活性化には水産基盤の整備が極めて重要であり、東日本大震災の被災地の復興、復興、防災減災対策の強化など新漁港整備備長期計画の積極的な推進のため、当協議会としてこれまで以上に各県の連携を深め、活動していき」と訴えた。続いて、橋本牧水産庁漁港整備備部計画課長(代理)・本田直久(徳島県漁港整備備部計画課長)、田中潤児(全国漁港漁場協会正・理事)より、兵庫県の津波防災ステーションの整備について、兵庫県の水産課の地主兼主任の

「野村興児(山口県漁港漁場協会会長・萩市長)が、平成25年度の第4回全国漁港漁場大会の愛媛開催について、各県協会から現在取り組んでいる特約的な事業、活動内容等について話提供があった。第31回全国大会がな海づくり大会を今年度まで終えて、2012年、まんが王国」とり、建國元年(小西大倉鳥取県農林水産部(小西大倉鳥取県農林水産部)の整備(中東達夫鳥取県農林水産部漁港整備備課長)の講演が行われた。27日には、出雲市の大社漁港海岸、大社漁港水産物荷さき所等の視察を行った。

「野村興児(山口県漁港漁場協会会長・萩市長)が、平成25年度の第4回全国漁港漁場大会の愛媛開催について、各県協会から現在取り組んでいる特約的な事業、活動内容等について話提供があった。第31回全国大会がな海づくり大会を今年度まで終えて、2012年、まんが王国」とり、建國元年(小西大倉鳥取県農林水産部(小西大倉鳥取県農林水産部)の整備(中東達夫鳥取県農林水産部)の講演が行われた。27日には、出雲市の大社漁港海岸、大社漁港水産物荷さき所等の視察を行った。

各県総会

広島県

広島県漁港漁場協会(会長・田中達美・江田市長)は、7月11日午後4時から福山市の「福山ニッコーキャッスルホテル」において、平成24年度通常総会を開催した。

広島県漁港漁場協会(会長・田中達美・江田市長)は、7月11日午後4時から福山市の「福山ニッコーキャッスルホテル」において、平成24年度通常総会を開催した。

広島県漁港漁場協会(会長・田中達美・江田市長)は、7月11日午後4時から福山市の「福山ニッコーキャッスルホテル」において、平成24年度通常総会を開催した。

愛媛県

愛媛県漁港漁場協会(会長・中畑保・豊後市長)は、7月27日午後4時から松山市の「松山日空ホテル」において開催された。

愛媛県漁港漁場協会(会長・中畑保・豊後市長)は、7月27日午後4時から松山市の「松山日空ホテル」において開催された。

愛媛県漁港漁場協会(会長・中畑保・豊後市長)は、7月27日午後4時から松山市の「松山日空ホテル」において開催された。

高知県

高知県漁港漁場協会(会長・高知良・高知市長)は、7月23日午後4時から高知市の「高知会館」において開催された。

高知県漁港漁場協会(会長・高知良・高知市長)は、7月23日午後4時から高知市の「高知会館」において開催された。

高知県漁港漁場協会(会長・高知良・高知市長)は、7月23日午後4時から高知市の「高知会館」において開催された。

漁港往来

自7月1日 至7月31日

7月1日(水) 全国漁港漁場協会 会田中会長は鳥根県へ出張

7月10日(火) 全国漁港漁場協会 田中会長は三重県へ出張

7月11日(水) 全国漁港漁場協会 山本貞夫氏(前)全国漁港漁場協会田中会長は江田市長(金)広島県漁港協会へ出張

7月12日(木) 全国漁港漁場協会 田中会長は三重県へ出張

7月18日(水) 全国漁港漁場協会 田中会長は鳥根県へ出張